

あの日から 未来・えがおへ



あの日（東日本大震災 2011.3.11）から、10年が経ちました。児童室に来る子ども達の多くは、あの日の記憶がありません。

でも、大人は覚えています。

子どもたちに伝えてください。

あの日、“笑顔”がかくれてしまったことを、いま、“笑顔”で 未来を見つけたことを！

3.11

令和3年2月26日～令和3年3月24日

青森県立図書館児童室

「あの日から 未来・えがおへ」 展示資料

タイトル	著者	出版社	刊年	配架・請求記号
ひまわりのおか	ひまわりをうえた八人の お母さんと葉方舟/文	岩崎書店	2012	児 E マツカ*マ A05B
明けない夜はないから	宮城県の子どもたち +荒井良二/絵	フェリシモ	2013	児 E マツカ*マ A04A
はしれさんてつ、きぼうをのせて	国松俊英/文 間瀬なおかた/絵	WAVE出版	2014	児 686J ケニマツ*ト A03A
3.11復興の取り組みから学ぶ未来を生き抜くチカラ 1 困難を乗り越える・人とつながる	赤坂憲雄/監修	日本図書セン ター	2015	児大 369J 3117 (1) A02A
3.11復興の取り組みから学ぶ未来を生き抜くチカラ 2 地域を愛する・自然と共に生きる	赤坂憲雄/監修	日本図書セン ター	2015	児大 369J 3117 (2) A02A
3.11復興の取り組みから学ぶ未来を生き抜くチカラ 3 防災を知る・日本の未来を考える	赤坂憲雄/監修	日本図書セン ター	2015	児大 369J 3117 (3) A02A
それでも、海へ 陸前高田に生きる	安田菜津紀/写真・文	ポプラ社	2016	児 916J マダ*マ A08B
あしたがすき 釜石「こすもす公園」きぼうの壁画ものがたり	指田和/文 阿部恭子/絵	ポプラ社	2016	児 E マ*マ A04A
ぼくらがつくった学校 大槌の子どもたちが夢見た復興のシンボル	ささきあり/文	佼成出版社	2017	児 372J マツカ*マ A02A
「牛が消えた村」で種をまく それでも「ふるさと」	豊田直巳/写真・文	農山漁村文化 協会	2018	児 369J トダ*マ A02A
「負けてられねえ」と今日も畑に それでも「ふるさと」	豊田直巳/写真・文	農山漁村文化 協会	2018	児 369J トダ*マ A02A
「孫たちは帰らない」けれど それでも「ふるさと」	豊田直巳/写真・文	農山漁村文化 協会	2018	児 369J トダ*マ A02A
百年後を生きる子どもたちへ それでも「ふるさと」	豊田直巳/写真・文	農山漁村文化 協会	2020	児 369J トダ*マ A02A
「明るい未来」を子どもたちに それでも「ふるさと」	豊田直巳/写真・文	農山漁村文化 協会	2020	児 369J トダ*マ A02A
響け、希望の音 東北ユースオーケストラからつながる未来	田中宏和/著	フレーベル館	2020	児 764J マカ*ヒ A03B
うみといきる	ふくいてる/作 いとう良一/絵	金の星社	2020	児 E トカ*リ A04A
ひばりに	内田麟太郎/詩 うえだまこと/絵	アリス館	2021	児 E ケダ*マ A04A
一般室の本				
タイトル	著者	出版社	刊年	配架・請求記号
あのときあれからそれからそれから 東北未来絵本	みんなと荒井良二/作	山形新聞社	2012	大型 726.6 シンパマ B13A
手から手へ FROM HAND TO HAND 絵本作家から子どもたちへ3.11後のメッセージ		手から手へ実 行委員会	2013	726.6 マツカ 書庫
あの日からの或る日の絵とことば 3.11と子どもの本の作家たち	筒井大介/編	創元社	2019	726.5 マカ*リ A13B

紹介している資料は、一部です。お探しの本などがありましたら、カウンターでご相談ください。